



平成 23 年 2 月 18 日

各 位

株 式 会 社 北 洋 銀 行
世 界 銀 行
株 式 会 社 大 和 証 券 グ ル ー プ 本 社

北洋銀行が「グリーンボンド」を購入 ～債券投資を通じて地球温暖化対策に貢献する～

このたび、株式会社北洋銀行（本社：北海道札幌市、頭取：横内龍三、以下「北洋銀行」）は、世界銀行（国際復興開発銀行）が新規に発行する「グリーンボンド」を購入し、2月18日に払込が完了する予定です。その概要についてお知らせいたします。

グリーンボンドとは、世界銀行が資金拠出を行っている事業のうち、地球温暖化の要因を取り除くこと、あるいは地球温暖化により引き起こされる諸問題に対処することを目的に開発途上国で実施される事業を支援するために発行される債券です。グリーンボンドで調達した資金は、世界銀行の環境専門家が一定の基準に基づいて選定した地球温暖化対策事業、具体的には、代替エネルギーの導入、温室効果ガスの排出を軽減する新技術の開発支援、森林再生、河川流域管理、洪水対策などの事業を支援するために活用されます。世界銀行は、これまで19億米ドル相当のグリーンボンドをユーロ市場において発行してきました。

今回のグリーンボンドについては、発行総額 1,000 万米ドル全額を北洋銀行が購入しております。引受けディーラーには、大和証券グループのホールセール証券会社である大和証券キャピタル・マーケット株式会社指名され、発行のアレンジを担当しました。

北洋銀行は、CSRを企業の本源的な活動と位置づけ、経済的な発展のみを目指すのではなく、社会の持続可能性に配慮した経営を行っており、北洋銀行が中核を担っている札幌北洋グループでは、『環境』『地域医療』『金融教育』の3つを重点テーマとして、グループ全体でCSRに取り組んでいます。

自然環境の恩恵を大きく受ける北海道において、環境保全は重要なキーワードです。北洋銀行は、北海道に基盤を置く金融機関として、環境保全への取組みを『ビジネスを通じた取組み』、『当グループ自身の環境負荷軽減への取組み』、『環境保全を目的とした社会貢献』の3分野に分けて積極的に推進しており、これまでも「北洋エコボンド」「ほくよう環境配慮型融資」の取扱いや、「グリーン購入」、北海道の生物多様性保護を目的とする「ほくくー基金」の設立などに取り組んでまいりました。

北洋銀行は、こうした取組みの一つとして、投資を通じて地球温暖化対策に貢献するとの趣旨



に賛同し、また、地域の皆さまからお預けいただいた資金を有効に活用できると考え、このたびのグリーンボンド購入を決定しました。

世界銀行の目標は世界の貧困を撲滅することです。そして、支援を受けた国々が豊かになり、世界銀行と共に発展途上国を支援することをビジネスモデルとしています。かつて日本も世界銀行から支援を受けており、北海道とも古い歴史があります。1954年、世界銀行が行った調査で石狩川泥炭地が有望な農業地域になると判断され、1956年に篠津地域泥炭地開発事業および根釧地区機械開墾建設事業(通称：パイロットファーム)に対して貸出が実行されました。世界銀行の資金は機械開墾を行うための重機械と乳牛の導入に活用され、今日の日本における大規模酪農経営モデルの基礎となったのです。半世紀を経て、今度は世界銀行が、グリーンボンドを通じて北海道の皆様を借り入れ、地球温暖化問題の解決に活用することは、世界銀行が理想とするビジネスモデルの実現に他ならないのです。世界銀行は、今後も日本の投資家の皆様にご支援を頂けるよう努力して参りたいと思います。

大和証券グループは、企業理念のひとつに『社会への貢献』を掲げ、主要業務である証券ビジネスを通じて持続的社会の形成に尽くすべく努めています。そのひとつとして推し進めているのが、投資を通じて社会に貢献する「インパクト・インベストメント」です。これまでに、個人投資家向けの公募インパクト・インベストメント商品を累計 3,000 億円以上販売し、また、地方銀行など特定投資家を対象とした起債も数多く手掛けるなど、この分野における第一人者としての地位にあるといえます。

大和証券グループでは、インパクト・インベストメントは、世界が直面する社会的課題を金融市場から解決する可能性を持った手法だと考え、その普及・拡大を目指しています。

発行概要

発行体	世界銀行（国際復興開発銀行：IBRD）
起債通貨	米ドル
発行総額	1,000 万米ドル
受渡日	2011年2月18日
償還日	2016年2月18日
各債券の金額	100 万米ドル
主幹事	大和証券キャピタル・マーケッツ



■ 北洋銀行について

北洋銀行は、北海道を営業基盤とする地域金融機関であり、北海道内に民間金融機関（郵貯銀行除く）としては最大である188店舗の充実したネットワークを持っています。道内預金に対し19.4%、貸出金に対し28.5%のシェアを占め、貸出金に関しては道内金融機関最大のシェアとなっています（2010年3月末現在）。

北洋銀行が属する札幌北洋グループは、グループ全体でCSRに取り組んでいます。その活動が評価され、2008年3月、社会的責任投資（SRI）指数「FTSE4Good Index」の構成銘柄に、道内企業としてはじめて札幌北洋ホールディングス株式が採用されました。

■ 世界銀行について

世界銀行（通称 IBRD : International Bank for Reconstruction and Development）は、1945年（1944年に創設協定を起草）に設立された国際開発金融機関で、現在187の加盟国が出資し運営しています。日本は1952年にIBRDに加盟しました。IBRDは加盟国への貸出・保証に加え、リスク管理サービスおよび分析・助言サービスも提供し、持続可能な経済成長と環境保全を両立させるべく、世界の貧困を削減することを目指しています。最終的な目標は、貧困を撲滅し世界中の人々の生活水準を改善することです。世界銀行は60年余に亘り、国際資本市場で債券を継続的に発行して参りました。この長い歴史の中で、1989年に史上初のグローバル債を発行する等様々な先進的な金融取引を実現し、最も著名で有力な発行体の一つとして市場から評価されています。

世銀債の詳細につきましては以下をご覧ください: www.seginsai.org

■ 大和証券グループについて

大和証券グループは、1902年創業の日本を代表する独立系総合証券グループです。グローバルなネットワークにより、世界中の顧客に対し資産形成や企業活動の支援といった金融サービスを提供し、社会及び経済の発展に貢献しています。主要な事業は、エクイティ、債券、デリバティブおよびその他金融商品の開発・提供、エクイティ・債券等の引受業務、M&Aをはじめとするアドバイザー業務に加え、アセットマネジメント業務やプリンシパル投資です。

大和証券グループの営業拠点は、日本をはじめ、米国、欧州、およびアジア・オセアニア地域に広がっています。世界中に約16,000人の従業員を抱え、顧客からの預り資産残高は約42兆円、グループのアセットマネジメント会社2社の運用資産残高は合計で約13兆円です。リテール事業を行う大和証券では120の店舗網、約338万の顧客口座数を有し、ホールセール事業を行う大和証券キャピタル・マーケットでは21の国と地域に30の拠点を有しています。（数字は全て2010年9月末現在）

以上